

「飾り棚」

古い水屋の戸にダイヤガラスを入れ棚板を付けてみました。

「カード入れ」

1つ¥1,000

4種類の古布を使ってあります。
ボタンもおもしろいモノを使いました。

「恵比寿」

前回の作品展のテーマ「古布兎」
ケースに入れると立派に見えるものです。

「手提竹カゴ」

「巾着」

柿渋染蚊帳等使用。

「招福万来」

明治時代の古カゴ使用。

京都の絵師大久保さんに七福神と書をお願いし製作。

「瓢箪」

かなり時代物の収穫用のカゴを使用。

「寿」

「表裏」

シングルレコードでも良く有りましたが、
A面よりもB面の方が出来が良い事も有ったり無かったり。

「月兎」

大正時代の

「六瓢」

無病息災を願って。

「茄子」

丹波焼の茄壺をイメージして。

「月と兔」

のれんの布地は大正時代の麻の蚊帳を柿渋染。
月と兔のデザインは寛永年間に九州の伊万里で
焼かれた中皿の染付絵を題材に。

「蜻蛉」

とんぼ

布地は昭和初期の麻の蚊帳を柿渋染。
とんぼの図柄は大正時代の女物の着物の柄を題材。

「アインシュタイン」

アルベルト・アインシュタイン博士を題材とし、
和紙と古文書の浄瑠璃の教則本を柿渋染にし製作。